

大麦緊急特報(号外)

平成28年9月27日
富山農林振興センター
あおば農業協同組合

～めざせ！高品質・安定生産あおば大麦！！～

9月中旬以降、雨が多く、圃場の乾きが大変悪くなっています。

圃場が柔らかい状態で、無理やりドリル播きで播種をすると、出芽・苗立ち数が不足するので注意してください！

緊急対策

①排水対策の徹底(ドリル播き、散播共通)

・額縁排水、排水口の手直しを行い、停滞水が速やかに排水できるようにして下さい。

②計画的な播種

・圃場の乾きを確認し、10月中旬頃までに播種を終わるように計画的に作業して下さい。

・乾いたほ場から播種するとともに、土壌が十分に乾かない場合は散播に変更しましょう。

③ドリル播きでの播種深さの再確認

・圃場が柔らかいと機械が沈み込むことが予想されます。このため、深播きになる可能性があるため、3cm以上とならないよう播種機の設定を確認しましょう。

(播種深度が深いと出芽苗立ちが遅れ不揃いとなり、湿害を受けやすくなります。)

※但し、ドリル播きで除草剤を使用する場合は、種子が表面に出ないように注意してください。(散播は除草剤を使用しない。)

【参考】9月の気温と降水量

